

2020年4月

発行 理事会

生活クラブ生活協同組合

〒524-0044

滋賀県守山市古高町110番地8

TEL 077-514-2028

組合員数...2,568名



コロナ騒ぎで世間がざわざわしています。皆さま、いかがお過ごしですか？子どもたちの春休みが思っていたより長くなり、ちょっと疲れてしまっていないですか？手洗い・うがい・換気・食事・睡眠など昔から言われていることを、ニュースで報じる時代です。不思議な気がしますね。私たちは、しっかり食べて、丈夫なからだを作るようにしていきましょう。

とはいっても、3月は予定していた企画の中止を決めました。参加を予定していた皆さん、ごめんなさい。(3月3日 脱プラ学習会・16日 ライフプラン講座・20日 長浜交流会&説明会・21日~26日 リフレッシュツアー・24日 BBQ交流会・30日 米澤製油生産者交流会)今後の推移をみながら、出来ることは、楽しく実施していきたいと思っています。



1月から3月20日まで、冬の特別キャンペーンに取り組み、62名の仲間が増えました。また、新エリアの長浜コース(2ステーション・9班、44名)も始まり、2019年度末(3/19現在)は2,569名になりました。

2020年度が始まりました。

4月から

春の仲間づくりキャンペーンが始まります。2020年度は、

お友だちを紹介すると、紹介してくれた組合員に「ミニトマトケチャップ」プレゼント♪
さらに、そのお友だちが加入したら、組合員とお友だちに「なたね油小瓶」プレゼント♪♪
もちろん組合員には今までどおり、**50%割引カード**もありますヨ♡

食べた物がからだを作ります。丈夫なからだを作るために、お友だちに生活クラブを教えてあげちゃいましょう♪♪♪

☆消費材への意見要望 提出☆

滋賀では初めてとなる、消費材への意見要望を、連合消費委員会へ提出しました。50年の歴史のある他の地域と違って、やっと10年の滋賀。子連れママ達が多い滋賀ならではの意見が出されました。各地域の学区会で出た意見を理事会で議論し、まとめました。連合消費委員会へ提出するものと、理事会での話し合いで学区へ回答したものがありませんでした。まだまだ初めてで、不慣れなこともありましたが、今後続けていくことで、バージョンアップしていきます。皆さんも、いろいろな意見を持って、学区会に参加してくださいネ♡

☆野洲市学区会レポート☆

野洲市の学区会は、組合員が気になっている地域の課題に取り組んでいます。やっぱり、子どものことって気になりますよね。学校給食についての動きを紹介します。

11.25 野洲市学区会は、石けん、フッ素のお話、学校給食について。

酸素系漂白剤を使ったマグの茶渋落とし実演。高温のお湯で、短時間でスッキリ！使い方の実演ってわかりやすいね♪お鍋にかけたままの、我が家の“ふきん”真っ白になりました～

給食については、給食センターの見学の計画を立てようと声をかけました。給食センターに問い合わせたところ、早めに見学日を知らせたら調整して、見学できるとのこと。

どんな思いを持って動き出すか、しっかりみんなの考えをまとめねば～

1月に見学予定しています。

1月は給食センター見学。

まず第一歩として給食センターを訪問し、遠藤美穂子所長に施設概要・給食の内容を聞きました。野洲市は市が直営しているということで、こちらの働きかけ次第で「声」が届きやすいのではないかと感じました。食べたもので身体がつくれます。これから身体をつくる子どもたちの食について語り合っていきたいと思っています。次はどうしていくかみんなで考えましょう。

2月の香害の学習会で、給食エプロンの香り（合成洗剤・柔軟剤←化学物質）がキツく困っているという話もでました。知らずに使っていると知らぬ体調不良を招きかねません。このテーマも、学んでいきたいです。

住んでいるところの課題や問題をみんなでも共有したり、調べたりしていきましょう。参加してネ♡



連合消費委員会へ提出した消費材

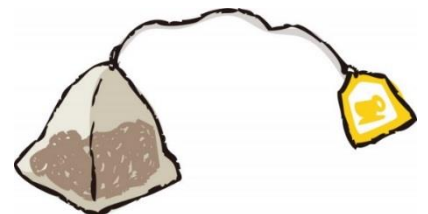
ポリマー樹脂を使わない紙おむつ



赤ちゃんが食べられる味のついていないお菓子



ポリエステル系の素材を使わない
だしパックやティーパックの袋





☆ハケタ会 訪問☆

昨年10月に台風19号の被害を受けた、長野県りんご生産者ハケタ会を初めて訪問しました。

今年はふじが届かないかもしれないと聞いた時とてもショックでした。我が家はりんごが冬の間お薬代わり、皮ごと食べられるハケタ会のりんごは、解熱、腸整作用があるのでこれでお手当てしてきたからです。ハケタ会とは、40年以上前に、大阪千里山生協との提携からはじまったそうです。この長い年月の中で、今回一緒に訪問した大阪、京都、奈良のベテラン組合員のみなさんが、“たびたび産地を訪れ、生産者とのつながりを築いてきたこと”“食べる約束をし、生産

者もわたしたちの要望を聞いて、りんごの生産を続けてきたこと”顔の見える関係とよく言いますが、これを実践してきた取り組みは他には真似できないことだと感じました。

千曲川が決壊し、新幹線が水に浸かっている映像が流れてからまだ4ヶ月しか経過していませんでした。ふじの収穫目前の10月にりんごの木を濁流が襲い、訪ねた生産者の畑には、落ちたりんごが地面を覆っていて、野鳥たちのごちそうに姿をかえていました。水をかぶり食べられなくなったからといって、「実っているりんごを自分たちの手で木から落とすことはできなかった。ボランティアに来てくれた生活クラブの職員がかわりに落としてくれてよかった」という言葉。本来ならこの時期、りんごが木に成っているはずはないのだけど、りんごがぶらさがったままの畑も所々目にしました。決壊場所からすぐの集落の家々の屋根が傾いたり、道路も砂埃で白くなったままだったり、その爪痕はまだまだ生々しく残っていました。

生産者のお宅もまだ、仮住まいだったり、りんごの倉庫として使っていたところを改装して住まっていたり、小学校も仮設の建物だとききました。

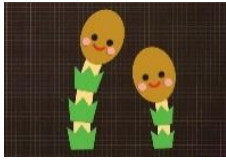
2月の長野に雪はなく、おかげで畑作業ができるというが、手入れしているりんごの枝々は、本来の茶色ではなく白っぽいチリを被ったままで、雨でも落ちないままだそう。それでも「花芽」「葉芽」は芽吹きを間近に感じさせてくれました。

台風19号支援カンパ、関西独自のカンパから¥15,000,000届けました。協同のたすけあいの力の素晴らしさを実感しつつ、これから先もこのつながりを大切に受け継いで行こうと思いました。

今年も無事にりんごが実りますように。「目合わせ」には必ず行こうと密かに思っている。そして、届いたりんごはきっと格別だし、生産者をイメージできる。それが嬉しい。

日々、刻々とメディアから流れ出るどうでもいいニュース、ほんの4ヶ月前の出来事も私の日常からは消えていて、すっかり復興しているのではないかと思っていた。自分の目で見て感じて本当のこと知る作業をこれからも続けていきたいと思う。滋賀のおおぜいのわたしとともに。

コロナ騒動で「マスクがない」「トイレトペーパーが店先からなくなる」って、こんなことがないと意識できないかもしれないが、やっぱりわたしたちの日々の消費行動で社会が動くことを実感した。だからわたしの暮らしは共同購入で大部分をすませている。そしてだれがどこで作っているかもわかるから、あれこれ心配しないですんでいる。



4月 スケジュール案内



日	月	火	水	木	金	土
29	30	31	1	2	3	4
		東近江市学区会	シャボン玉フォーラム 作業日 びわ湖環境委員会	近江八幡市学区会	大津市学区会 守山市・湖南 学区会	野洲市学区会
5	6	7	8	9	10	11
長浜市 学区会			NO-NUKES 委員会	NON-GM 委員会		
12	13	14	15	16	17	18
			シャボン玉フォーラム 実行委員会			
19	20	21	22	23	24	25
	湖東学区会				理事会	
26	27	28	29	30		

**☆5月16日・17日 2020 シャボン玉フォーラム
inしが@ピアザ淡海 1年延期します☆**

生活クラブへの質問や、お悩みを募集しています！

切り取って、配送担当にお渡してください

さざなみ ぎもん・お悩みズバツと解決コーナー・Q&A 質問用紙

待ってるよ〜♡／



お名前 ()

さざなみにお名前を掲載してよろしいですか？ (はい ・ いいえ)